

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	:	OXY-BLOCKER
推奨用途	:	液体シーラー
使用上の制限	:	上記用途以外では使用しない
会社情報		
会社名	:	株式会社IHI回転機械エンジニアリング
担当部署	:	アフターサービス営業部
住所	:	神奈川県横浜市磯子区新中原町1番地
電話番号	:	045-522-5322
緊急連絡先	:	045-522-5322
FAX番号	:	045-522-5329
製造者	:	株式会社中央発明発明研究所
住所	:	東京都西多摩郡瑞穂町二本木字杉並539番地
改定日	:	2025年02月03日

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

爆発物	:	区分に該当しない
可燃性ガス	:	区分に該当しない
エアゾール	:	区分に該当しない
酸化性ガス	:	区分に該当しない
高圧ガス	:	区分に該当しない
引火性液体	:	区分に該当しない
可燃性固体	:	区分に該当しない
自己反応性化学品	:	区分に該当しない
自然発火性液体	:	分類できない
自然発火性固体	:	区分に該当しない
自己発熱性化学品	:	分類できない
水反応可燃性化学品	:	区分に該当しない
酸化性液体	:	区分に該当しない
酸化性固体	:	区分に該当しない
有機過酸化物	:	区分に該当しない
金属腐食性物質	:	分類できない
鈍性化爆発物	:	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	:	区分4
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	:	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	区分1B
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	:	区分1
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	分類できない
誤えん有害性	:	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	:	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	:	分類できない
オゾン層への有害性	:	分類できない

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語
危険

危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き

安全対策

- ・ 保護手袋/保護眼鏡を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

应急处置

- ・ 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- ・ 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- ・ 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

保管

- ・ 直射日光、高温を避け、容器を密閉して保管すること。

廃棄

- ・ 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

組成・成分

化学名	濃度又は濃度範囲（wt%）	CAS No.	官報公示整理番号
珪酸ナトリウム溶液	70 ～ 75	非開示	化審法-既存
マイカ	15 ～ 20	非開示	化審法-既存
合成非結晶性シリカ	1 ～ 5	非開示	化審法-既存
水	残	—	—

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。
意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤：この製品自体は、燃焼しない。
- 特有の消火方法：周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置
- ：消火作業の際は、適切な自給式の呼吸保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ：作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。風上から作業をし、風下の人を退避させる。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- ：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：取扱いは換気の良い場所で行う。
目、皮膚および衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。
- 安全取り扱い注意事項：保護手袋/保護眼鏡を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。

保管

- 技術的対策：直射日光、高温を避け、容器を密閉して保管すること。
- 安全な容器包装材料：スチール、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

化学名	管理濃度	許容濃度(衛生学会)	許容濃度(ACGIH)
マイカ	設定されていない	(第三種粉塵)	設定されていない
		吸入性粉塵2 mg/m ³	
		総粉塵8mg/m ³	

- 設備対策：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
全体換気装置または局所排気装置を設ける。

保護具

- 呼吸器の保護具：必要に応じて防じんマスク(液体粒子用)を用いる。
- 手の保護具：溶剤用保護手袋
- 目の保護具：保護眼鏡またはゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具：化学用エプロンまたは保護前掛け
安全靴または保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：液体／ペースト
- 色：黄褐色
- 臭い：わずかな特異臭
- 融点：情報なし
- 沸点：100℃以上
- 可燃性：不燃
- 爆発下限界及び爆発
上限界／可燃限界：情報なし
- 引火点：情報なし
- 自然発火点：情報なし
- 分解温度：情報なし
- pH：情報なし
- 動粘性率：情報なし
- 粘度：200,000～400,000mPa・s
- 溶解度：水と任意の割合で混合できる。
- n-オクタノール／水分分配係数：情報なし
- 蒸気圧：情報なし
- 密度：1.6～1.8g/cm³（25℃）
- 相対ガス密度：該当しない
- 粒子特性：該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の取り扱いでは安定である。
化学的安定性	:	通常の取り扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	:	通常の取り扱いでは安定である。
避けるべき条件	:	通常の取り扱いでは安定である。
混触危険物質	:	知見なし
危険有害分解生成物	:	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	:	ラットLD ₅₀	1,800mg/kg	(区分4)
	経皮	:	情報なし		(分類できない)
	吸入（ガス）	:	GHS定義による液体である。		(区分に該当しない)
	吸入（蒸気）	:	情報なし		(分類できない)
	吸入（ミスト）	:	情報なし		(分類できない)
皮膚腐食性／刺激性	:	製品の判定基準			(区分1B)
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	:	製品の判定基準			(区分1)
呼吸器感作性	:	情報なし			(分類できない)
皮膚感作性	:	情報なし			(分類できない)
生殖細胞変異原性	:	情報なし			(分類できない)
発がん性	:	情報なし			(分類できない)
生殖毒性	:	情報なし			(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	情報なし			(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	情報なし			(分類できない)
誤えん有害性	:	情報なし			(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性					
水生環境有害性	短期（急性）	:	情報なし		(分類できない)
水生環境有害性	長期（慢性）	:	情報なし		(分類できない)
残留性／分解性	:	情報なし			
生体蓄積性	:	情報なし			
土壌中の移動性	:	情報なし			
オゾン層への有害性	:	モントリオール議定書の付属書に列挙されていない			(分類できない)

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
- 汚染容器及び包装の安全な廃棄、リサイクルに関する情報 : 内容物を完全に除去した後に処理を委託する。
洗浄に用いた廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。
-

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連分類 : 該当しない
- 国連番号 : 該当しない
- 品名（国連輸送名） : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 国内規制 : 適用法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
直射日光、高温を避ける。
-

15. 適用法令

- 化管法（PRTR法） : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない
-

16. その他の情報

引用文献

- (1) GHSに基づく化学品の分類方法-JIS Z 7252 : 2019
 - (2) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）-JIS Z 7253 : 2019
 - (3) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂6版 化学工業日報社
 - (4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
 - (5) 安全衛生情報センター GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
-

記載内容の取扱い

本安全データシートは、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の実用を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。